

件名	要旨	提出先
義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書	子どもたちが、住む地域に関係なく等しく教育を受けられるよう、国の責務である教育水準を担保するためには、義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1へ復元するなどの拡充が大変重要である。新・教職員定数改善計画を上回る「30人以下学級」を早期に実現し、ゆとりある教職員定数となるよう改善するとともに、地域の特性にあった教育環境の整備・充実のため、教育予算を確保し拡充するよう要望する。	・内閣総理大臣 ・総務大臣 ・財務大臣 ・文部科学大臣 ・内閣府特命大臣（地域主権推進） ・衆議院議長 ・参議院議長
けいれん性発声障害（SD）の研究・治療等の推進を求める意見書	けいれん性発声障害（SD）とは、発生時に喉の筋肉が過度に緊張するため声に異常をきたす病気であるが、原因が明らかになっていない。声を上手く発声できないため、SD患者の多くが仕事上や就職活動などにおいて相当な負担を強いられている。治療においては、手術のほか、喉の緊張を和らげるボツリヌムトキシン注射があるが保険適用外であり、一部の医療機関でしか実施していない。国においては、実態の調査をするとともに周知体制や注射の保険適用、医療機関体制など措置を講じられるよう要望する。	・内閣総理大臣 ・総務大臣 ・財務大臣 ・文部科学大臣 ・厚生労働大臣 ・衆議院議長 ・参議院議長



こしみず町 議会だより

News from koshimizu town assembly

第4回定例会は6月21日に開会し、町長からの行政報告のほか、3議員の一般質問と意見書案、各条例や各会計補正予算、契約締結などを審議・可決し閉会しました。
今月号では、第6回定例会における審議事項や一般質問についての内容をお知らせいたします。



補正科目	補正額	主な補正内訳
民生費	99千円	国・道支出金返還金
衛生費	6,576千円	斜里郡3町終末処理事業組合負担金
農林水産業費	569千円	戸別所得補償制度推進事業費補助金など
商工費	785千円	イベント用備品購入費
土木費	2,877千円	建物等修繕料など
教育費	8,058千円	郷土資料館整備工事請負費など
合計	18,964千円	

▼一般会計
歳入歳出それぞれ1千896万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を57億5千490万1千円とするものです。
主な補正内容は次のとおりです。

補正予算

可決

▼国民健康保険特別会計（平成23年度）
国の普通調整交付金の未交付などにより収支不足が見込まれたことから、一般会計より基準外の繰入を行うなど、500万円を減額し、歳入歳出予算の総額を9億2千456万2千円とするものです。

▼簡易水道特別会計
道営担い手支援畑地帯総合整備事業負担金4千万を追加し、歳入歳出予算の総額を2億613万1千円とするものです。

可決

▼手数料条例
外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の改正と戸籍事務の電算化に伴い、条文の改正等を行うものです。
（公布の日より施行）

可決

▼印鑑の登録及び証明に関する条例
外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の改正に伴い、条文の改正等を行うものです。
（平成24年7月9日施行）

可決

▼町長等の給与及び旅費に関する条例
平成24年7月分の給料について、町長は10%、副町長は5%減額するものです。
（平成24年7月1日施行）

可決

条例

意見書

可決

議員から提出された4件の意見書案について審議の結果、原案のとおり可決し、関係大臣等に提出することとしました。

件名	要旨	提出先
地方財政の充実・強化を求める意見書	急速な高齢社会が到来し、国の歳出に占める社会保障関係費の割合は5割を超え、社会保障の機能強化と持続可能性の確保が一層重要となっている。特に、地域経済と雇用対策の活性化が求められる中で、介護・福祉施策の充実、農林水産業の振興、クリーンエネルギーの開発など、雇用対策と結びつけ、これらの政策分野の充実強化が求められている。2013年度予算においても、2012年度と同規模の地方財政計画、地方交付税など地方財政予算全体の安定確保に向けた対策を求める。	・内閣総理大臣 ・内閣官房長官 ・総務大臣 ・財務大臣 ・内閣府特命大臣（経済財政政策） ・経済産業大臣
北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書	北海道は非正規労働者比率が4割と高く、低賃金・最低賃金に張り付く賃金体系が多い地域であり、地域経済の活性化と所得税収の確保、社会保障制度の維持・充実に向けて、納税を果たせる賃金の確保と全体の底上げは重要な課題である。北海道は生活保護費との乖離額が最大となっており、その乖離を速やかに解消することが喫緊の課題であり、安心して生活できる賃金を約束しなければならない。北海道地域最低賃金の改定にあたっては、働く者が経済的に自立可能な水準への改定を行うことを要望する。	・北海道労働局長 ・北海道最低賃金審議会長

■ 町税条例 … 専決処分

東日本大震災からの復興と再生、税制の公平性の確保及び課税の適正化の観点から要請される喫緊の課題への対応と平成23年度税制改正における積み残し事項の対応のため、地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法が改正されたことに伴い、条文改正等するものです。

■ 財産の交換

可決

町が所有する旧労働会館等跡地と日本赤十字社が所有する旧小清水赤十字病院院長住宅跡地等を等価交換するものです。

交換の相手
東京都港区芝大門1
1 3
日本赤十字社
社長 近衛 忠

契約

可決

■ 統合小学校外構整備工事

統合小学校外構整備工事にかかる契約の締結。

契約先 株式会社 北興
契約金額 5千407万5千円

	所在地	地籍
交換に供する財産	字小清水324番地3 字小清水649番地14	456.41㎡ 708.35㎡
交換により取得する財産	字小清水498番地1 字小清水651番地44	394.58㎡ 770.19㎡

■ 一般質問

電力確保

問 下平正吾 議員

東日本大震災以降、安全性の面から脱原発の声が高まっています。国は国民に対して将来に向けてのエネルギー政策を明確にしている中で、当面の電力不足に対し、地域毎に節電を提示し、北海道は7パーセントの節電を余儀なくされました。

本町の基幹産業である農業はこれから収穫期を迎え、農業関連施設などで大量の電力が必要となります。

電力確保は大変重要となりますが、電力確保の見通しについて、町長の考えを伺います。



下平正吾 議員

答 林 直樹町長

今回、国、北海道並びに北海道電力より節電への協力要請を受けていますが、その要因は、泊発電所の運転が再開できないこと、また、苫東厚真火力発電所4号機の補修工事が秋まで行われること、更に、本州から60キロワットの電力が来ていますが、この内30キロワットが停止している状態で、苫東厚真2号機が計画外停止した場合に電力が不足すると聞いています。

このような設備の停止が重なる頻度は少ないと考えられますが、万が一にも計画停電が実施された場合、あらゆる業種、住民生活に影響を及ぼしますが、生命・身体の安全確保に不可欠な施設、交通関係、物流関係への影響が大きいものはそれぞれ制限が緩和されるなど、今回の節電要請はセーフティネットとしての準備であるとされています。

何よりも高齢者など、社会的弱者の皆様が守られることが最優先であり、節電は住民

一人ひとりの意識と行動が一番だと言われており、町も電力使用者の一人として、節電に向けた集中対策を行います。今後、町広報を通じて、町内事業所及び町民皆様にも節電協力をお願いすることとしていきますので、ご理解をいただきたいと思います。

■ 浜小清水キャンプ場周辺の利活用

問 工藤孝一 議員

浜小清水前浜キャンプ場は、例年、千人前後の利用がありますが、近年、砂浜の浸食により炊事場周辺にテントを張る方々が増えている状況です。隣接する民有地などは利用されていませので、キャンプ場用地を広げるとともに、トイレも利用期間を広げ、施



工藤孝一 議員

設の有効利用を進めるべきと思いますが、所見を伺います。

答 林 直樹町長

浜小清水前浜キャンプ場は、炊事場及びトイレを町有地に整備し、テントサイトは砂浜5千20平米を網走南部森林管理署より借り受け開設しましたが、近年、海岸の浸食が進み、その対策としてテントラポートを設置されるなど、砂浜にテントを張りづらい環境となっています。

炊事場東側の隣接地は、網走漁業協同組合がさけ・ます定置網漁の関連施設用地として、網走南部森林管理署より借り受けていますが、現在は利用されていない施設も見受けられますので、今後、テントサイト用地の確保に向け、漁協施設の撤去及び借用面積などについて、双方の機関と協議を進めていきたいと考えています。

トイレの利用期間については、隣接地に24時間利用可能

答 林 直樹町長

出入りする網走漁協のトラックがキャンプ場に駐車する車で支障をきたしているやに聞いています。

現地を調査し、今後、どのようにしたらよいか検討したいと思います。

流木については、本町の海岸を含め、近隣の海岸などでも流木やその他の物が漂着し支障をきたしている状況です。毎年、町職員が流木以外の漂着物を処分していますが、流木は大きな風が来た時にはまた海に戻るという可能性もあるため、その付近に置いてくださいというオホーツク総合振興局の指導もありまして、そのままにしてある状況です。

この問題は、本町だけで解決できる問題ではありませんので、関係町村や関係機関とも協議し、対応していきたいと思います。

■ ごみステーションの改造

問 森 浩 議員

町の美化、衛生的な社会生活を送る中で、町内に設置されているごみステーションの役割は非常に大きいと思います。

昨今、高齢化が進み、重い鋼鉄の扉を持ち上げるには力も必要で大変かつ危険です。扉を前面に設置し、高齢者に優しいごみステーションにしてはどうかと考えますが、町として事業に取り組む考えはあるのか、また、あるとすれば改造にかかる費用を全額町が負担すべきと考えますが、所見を伺います。



森 浩 議員

答 林 直樹町長

町内に設置されているごみステーションは、平成23年度末で253ヶ所あります。

3月に開催された自治会連合会役員会で、ごみステーションに関する問題や改善事例などの意見交換が行われ、一部の自治会では、すでに自治会の負担で、ごみステーションを使いやすく改造されていると聞いています。

ごみステーションを設置する場合の費用は、小清水町ごみステーション設置費補助金交付要綱に基づき、購入する自治会に対し、購入費用の2分の1の補助金を交付し、その後の維持管理費用は自治会負担ということでお願いしてきています。

今後もそのようなことでお願いをしたいと考えていますので、ご理解をいただきたいと思います。

再問

森 浩 議員

自治会が老いも若きも全てが使うということであれば、自治会負担ということもわかりませんが、高齢者に優しい町づくりを標榜している町長です。高年齢者の為に、是非全額負担をして欲しいと思いますが、設置しているステーションの何パーセント、何個かは町で負担するという方法もあるかと思いますが如何でしょうか。

答

林 直樹 町長

すでに一部の自治会で、自治会の負担でごみステーションの改造を行っています。また、地域では、ごみステーションを集会所に数個設置している程度で、各戸で処理している実態にあり、町民全体を考えると、街の中だけ手厚く助成するというのはどうかとも思います。ごみステーションを鉄工所に持ち運ぶと、1基数千円程度で改修できると聞いていま

す。

改修する方法によって費用は変わるかとは思いますが、自治会で負担できない金額ではないと思います。

単年度ではなく、年次計画で改造していくこともできると思いますので、町民全体のことを考え、ご理解いただきたいと思えます。

企業誘致の進捗状況

問

森 浩 議員

この度の山口油屋福太郎の当町進出は、町民の方々の関心事です。

これを機に、Uターンしたい親との同居も考え帰郷したいという話しもあるようです。

企業立地促進条例に沿った話し合いがされていると思いますが、雇用人数の確保など条例の条件にあった誘致が進んでいるのか、また、誘致の進捗状況が町民に見えてこない状況ですが、町民に周知していく考えはあるのか伺います。

答

林 直樹 町長

現在、北陽めんべい工場の新設にあたり、屋内体育館と校舎間の一部増築など、施設改修工事の実設計が行われており、近々、建築確認申請がなされると聞いています。

9月には改修工事に着手され、当初の計画通り平成25年5月の本格稼働に向けて着実に準備が進められている状況のようです。

新規雇用者は、初年度が15名程度、以降平成27年度までの3年次で総数50名の採用が計画されているところです。

新規雇用者の募集時期などは、まだ明らかではありませんが、企業側からは、従業員の採用にあたり、まず、町内の募集を優先したいという意向も聞いていますので、しかるべき時期に、自治会回覧等による周知等、協力をしていきたいと考えています。

この度の企業誘致は、地元雇用確保のみならず、Uターン、Iターンなど、新たな定住人口の増加といった効



林 直樹 町長

果にも大きく期待を寄せているところですので、報道機関に協力をいただくなど、広く情報発信できるよう、今後も企業との協議の中で検討して行きたいと考えています。

質問・答弁は要約されています

議会だよりでは、質問・答弁の内容を要約して掲載しております。質問・答弁の全文については紙面の都合により載せることが出来ませんが、詳しくお知りになりたい方は、小清水町議会事務局へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

小清水町議会事務局 ☎(62) 4477(直通)

議 会 日 誌

6月19日～7月18日

【6月】

- 21日 議会運営委員会
- 第4回町議会定例会
- 議会報編集特別委員会
- 28日 斜里地区消防組合議会
- 終末処理事業組合議会
- (斜里町)
- 29日 オホーツク圏活性化期
- 成会農林水産委員会
- (網走市)
- 30日 SL歓迎はなやか祭
- in 小清水

【7月】

- 3日 町村議会議員研修会
- (札幌市)
- 4日～5日 経済厚生常任委員会
- (小樽市・白老町行政視察)
- 8日 ふれあい広場
- 11日 経済厚生常任委員会
- 13日 3町正副議長会議
- 18日 議会報編集特別委員会

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

編集 議会報編集特別委員会
委員長 森 浩
副委員長 機間 善高
委員 下平 正吾
高橋 隆文
大石 誠示
工藤 孝一

☎ 099-3698
小清水町字小清水217番地の1